

名作文庫通信

2025年冬号

新刊ご案内



『カラマーゾフの兄弟 Ⅰ』

ドストエフスキー／著 江川 卓／訳
中公文庫／刊

19世紀ロシア。強欲で好色な父と、個性的な3人の息子たちが、神による救済をめぐって、果てしなき議論を展開し…。世界文学史上の傑作を、ドストエフスキー作品の謎に迫ったロシア文学者が手掛けた注解版を文庫化。 「TRC MARC」より

ちくま日本文学 文庫版

006 寺山修司

寺山修司／著 筑摩書房／刊

誰か故郷を想はざる抄／家出のすすめ抄／私は地理が好きだった／歴史抄／首吊人愉快／青蛾館より／毛皮のマリー／サーカス／スポーツ版裏町人生より／おさらばという名の黒馬／モンタヴァル一家の血の呪いについて／詩／空には本抄／血と麦抄／他



寺山修司(てらやま しゅうじ) 1935-1983

青森県弘前市の生まれ。

十八歳のとき短歌研究新人賞を受賞。第一歌集『空には本』を刊行して脚光をあびる。劇団「天井桟敷」結成。劇作家、演出家として活動、その後映画界にも進出し、数々の賞を受賞。

ラジオ、テレビ、映画、写真、そして競馬やスポーツ評論などさまざまな分野で才気を発揮した。「言葉の錬金術師」、「アングラ演劇・四天王のひとり」、及び「昭和の啄木」とも称され、不朽の作品を生み出した。

大学時代にネフローゼ症候群で入院、1983(昭和58)年、肝硬変と髄膜炎のため敗血症を併発、47歳という若さでこの世去った。

童心に返る

久しぶりに手に取る懐かしいお話。タイトルやあらすじは知っているけれど初めて読むお話。そんな児童文学の名作たちを集めました。

宝島

ロバート・L.スティーヴンソン／著
鈴木 恵／訳 新潮文庫／刊

「宝島」の地図を手に入れた少年ジムは、医者のリヴジー先生や一本足の船乗りシルヴァーらと財宝を探しに出帆した。ところが海賊どもの反乱が勃発。単独行の果て、ジムは宝のありかにたどり着くが…。不朽の冒険物語の新訳。

「TRC MARC」より



秘密の花園

フランシス・ホジソン・バーネット／著
畔柳 和代／訳 新潮文庫／刊

10歳にして両親を亡くし、親戚に引きとられたメアリ。顔色も悪く愛想のない彼女を唯一楽しませたのは、ひっそりと隠された庭園だった。3人の子どもに訪れた、美しい奇蹟を描いた児童文学永遠の名作を新訳。

「TRC MARC」より





季刊「名作文庫通信」
3・6・9・12月発行

杉並区立下井草図書館
杉並区下井草3-26-5
電話:03-3396-7999